

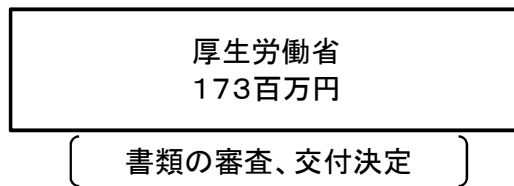
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

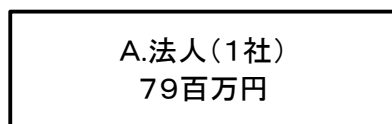
事業名	母子保健要員研修等事業等	担当部局庁	雇用均等・児童家庭局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	昭和39年度(昭和60年度まで一般会計に計上)	担当課室	総務課	定塚 由美子				
会計区分	年金特別会計 子どものための金銭の給付勘定	政策・施策名	VI-2-2 児童の健全な育成及び資質の向上に必要なサービスを提供すること					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	児童手当法第29条の2	関係する計画、通知等	児童福祉問題調査研究事業費等の国庫補助について(厚生事務次官通知 H10.4.23 厚生省発児第81号)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	母子保健医療に携わる者が最新の医学、技術を体得するための研修を実施するとともに、児童並びに家庭に関する情報の把握・分析・提供を行うことなどにより、児童の健全な育成と資質の向上に資することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	① 医師、保健師等、検査技術者など母子保健医療に携わる者が最新の医学、技術を体得するための研修の実施等を行う。 ② 子どもや家庭に関連する行政や民間団体等の取組や、研究成果等を継続的に把握、分析し、インターネットにより提供する。 ○ 実施主体：(社福)恩賜財団母子愛育会 ○ 補助率：定額							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	187	187	173	49	49	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	187	187	173	49		
	執行額		187	187	173			
執行率(%)			100.0%	100.0%	100.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	母子保健医療に携わる者が最新の医学、技術を体得するための研修を実施するとともに、児童並びに家庭に関する情報の把握・分析・提供等を行う事業であり、一律に成果目標を設定することは馴染まない。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	—	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	①受講数 ②情報提供サイトのアクセス数 ※平成23年5月10日までは独自ドメインでの運営でないため、アクセス数算出不可。		活動実績 (当初見込み)	①受講数 ②アクセス	— —	①1,278 ②3,234,053 (①1,492 ②3,000,000)	①1,304 ②5,963,496 (①1,552 ②5,000,000)	— (①1,432 ②7,000,000)
単位当たりコスト	①(19,201円/1人あたりの経費) ②(3.5円/1アクセスあたりの経費)		算出根拠	①受講数/予算額 ②アクセス数/予算額				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	事務費、事業費	49	49	—				
	計	49	49					

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国 費 投 入 の 必 要 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	母子保健医療に携わる者が最新の医学、技術を体得するための研修の実施や、児童並びに家庭に関する情報の把握・分析・提供等は重要であり、広く国民のニーズに応えることを目的としているため、国が実施すべき事業であり、国費を投入する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	広く国民のニーズに応えることを目的としており、母子保健医療に携わる者が最新の医学、技術を体得するための研修の実施や、児童並びに家庭に関する情報の把握・分析・提供等は重要であり、国が実施すべき事業である。	
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	母子保健医療に携わる者が最新の医学、技術を体得するための研修の実施や、児童並びに家庭に関する情報の把握・分析・提供等は、現場での対応に生かされており、優先度が高い。	
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			－	－	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			－	－	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○	母子保健医療に携わる者が最新の医学、技術を体得するとともに、児童並びに家庭に関する情報が広く国民に提供されることを踏まえ、コスト水準は妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			－	－	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	本事業の実施に必要な人件費や広報経費等、事業に必要な経費のみを補助対象としている。	
事 業 の 有 効 性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			－	－	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	母子保健医療に携わる者に研修を実施するとともに、児童並びに家庭に関する情報の把握・分析・提供等を行っており、現場での対応に生かされていることから、効果的である。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	当初見込みに見合った活動実績となっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	母子保健指導者の参考に供するものとして、現業、行政、研究、臨床の各方面で活用される国際的専門情報の収集、検索、提供及び「母子保健情報誌」の編集、発行事業を行うとともに、児童並びに家庭に関する情報を継続的に把握・分析し、広く国民に提供しており、十分活用されている。	
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			－	－	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	－	－	－			
	－	－	－			
点 検 結 果	広く国民のニーズがある、母子保健医療に携わる者が最新の医学、技術を体得するための研修の実施や、児童並びに家庭に関する情報の把握・分析・提供等は重要であり、国が国費を投入し、実施する必要がある。 平成24年度は、研修の受講数が1,300件を超え、また、情報提供を行うサイトへのアクセス数が約600万件となるなど、事業は広く活用されており、引き続き、児童の健全な育成と資質の向上に資するという観点から、本事業は必要である。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 状 通	本事業の必要性などの評価は概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現 状 通 り	－					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0851	平成23年	0759	平成24年	0667

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

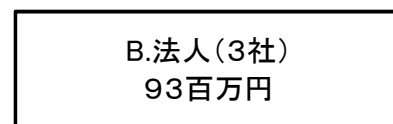


【補助】



母子保健医療に携わる者に対する研修の実施や児童並びに家庭に関する情報の把握・分析・提供、特殊ミルクの安定的な供給体制を整備するための必要量の確保、品質の管理等

【補助】



特殊ミルクの安定的な供給体制を整備するための必要量の確保、品質の管理等

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.(社福)恩賜財団母子愛育会			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事務費	児童福祉や母子保健の推進のための諸謝金、賃金、旅費、印刷製本費、雑役務費等の経費	55			
	事業費	児童福祉や母子保健の推進のための諸謝金、賃金、旅費、購入費、印刷製本費、通信運搬費等の経費	24			
	計		79	計		0
	B.株式会社明治			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	特殊ミルク製造に係る材料費等	44			
	計		44	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社福)恩賜財団母子愛育会	子どもや家庭の医療、保健、福祉、社会環境等の諸問題について総合的な調査研究や子ども家庭福祉に関する情報提供、特殊ミルクの安定的な供給体制を整備するための必要量の確保の指示、品質の管理等	79		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社明治	特殊ミルクの安定的な供給体制を整備するための必要量の確保、品質の管理等	44		
2	雪印メグミルク株式会社	特殊ミルクの安定的な供給体制を整備するための必要量の確保、品質の管理等	41		
3	森永乳業株式会社	特殊ミルクの安定的な供給体制を整備するための必要量の確保、品質の管理等	8		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					